

第 15 回名古屋市スケート競技会 みなとアクルス杯

要 項

- 1 主 催 名古屋市スケート協会 愛知県スケート連盟 邦和みなと スポーツ&カルチャー
- 2 主 管 名古屋市スケート協会
- 3 後 援 (公財)名古屋市教育スポーツ協会 中日新聞社
- 4 期 間 2025年7月19日(土)～7月22日(火)
- 5 会 場 邦和みなと スポーツ&カルチャー アイスリンク(屋内人口氷 60m×30m)
〒455-0015 名古屋市港区港栄1-8-23 052-654-0791
- 6 日 程 2025年 7月19日(土)18:40-22:00 公式練習
7月20日(日) 7:30-22:00 競技・表彰(初級・1級・3級男子・Jr 選手権 SP・選手権 SP)
7月21日(月) 7:30-22:30 競技・表彰(5級・Jr 選手権 FS・級選手権 FS)
7月22日(火) 7:00-21:00 競技・表彰(2級・3級・4級・NvB・NvA)
- 7 競技種目 シングル ペア アイスダンス(オープン競技)
- 8 競技課題 別記のとおり。
- 0 競技規程 国際スケート連盟規程、名古屋市スケート協会規程による。
- 10 参加資格 ①名古屋市スケート協会登録競技者、愛知県スケート連盟登録競技者、(公財)日本スケート連盟登録者のいずれかに該当する者。
(名古屋市スケート協会の会員資格は名古屋市内に在住、または、在学、勤務する者。)
②所定クラスのバジテスト級を取得する者。または見込みの者。
③競技会当日において、スケート競技を対象に含む傷害保険と賠償責任保険に加入している者。
④特別に参加を認めた者。
※ ①④のいずれかに該当する者は、③の条件は満たしていること。
但し、オープン競技のアイスダンスについては採点をしない。
- 11 表 彰 ①各クラス1位～3位の入賞者に賞状とトロフィーを授与。
②本大会で競技力の向上が顕著だった選手に、みなとアクルス杯を授与。
③男女の最上級クラスの優勝者に市長賞を授与(申請中)。
④ジュニア選手権又はノービス A・B の優勝者に名古屋市体育協会賞を授与。
※出場クラスが5名以下の場合は、同級クラスと包含する。
- 12 申込み方法 (公財)日本スケート連盟のマイページからお申込下さい。同時に参加料も振り込み下さい。
- 13 参 加 料 名古屋市スケート協会・愛知県スケート連盟の会員 それ以外の非会員
初級～2級、ダンス 1名11,000円 初級～2級、ダンス 1名13,000円
3級～5級、ノービス 1名13,000円 3級～5級、ノービス 1名15,000円
ジュニア選手権、選手権 1名15,000円 ジュニア選手権、選手権 1名17,000円
※1 ジュニア選手権・選手権の参加者は全員ショート・フリーを実施する予定、申し込み状況で変更もあり
参加料の振込み先:三菱UFJ銀行 名古屋駅前支店 普通預金5875185
「名古屋市スケート協会 理事長 久野 千嘉子」
- 14 申し込み期限 2025年6月23日(月)
- 15 音 楽 音源はマイページより登録する事。予備音源はCDに限る。
- 16 そ の 他 1)競技中の事故等については応急処置をいたしますが、その責任は負いません。
2)選手・1階エリアへの入場はIDカードが必要です。(選手・コーチ・保護者1名の観覧は無料)
3)観客席での写真撮影およびVTR撮影は禁止いたします。
4)本大会は**ブロック大会「ミニマム取得可能競技会」**です。
5)問い合わせ先 大会実行委員会 (asufsp@yahoo.co.jp)

【競技課題】

性別	クラス	参加資格		時間	課題
男子	選手権	7級以上	2025年7月1日以前に17歳に達している者	2分40秒±10秒 4分±10秒	ISUシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ジュニア選手権	5級以上	2006年7月1日～2012年6月30日の間に出生した者	2分40秒±10秒 3分30秒±10秒	ISUジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ノービスA	4級以上	2012年7月1日～2014年6月30日の間に出生した者	3分±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	ノービスB	3級以上	2014年7月1日～2016年6月30日の間に出生した者	2分30秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	4級クラス	4級	中学生以上 小学生以下	3分±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	3級クラス	3級	中学生以上(大学生はインカレ資格での出場が可能) 小学生以下	2分30秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	2級クラス	2級	中学生以上 小学生以下	2分±10秒	別記1
	1級クラス	1級	中学生以上 小学生以下	1分±10秒	別記2
	初級クラス	初級	中学生以上 小学生以下	1分±10秒	別記3

性別	クラス	参加資格		時間	課題
女子	選手権	7級以上	2025年7月1日以前に17歳に達している者	4分±10秒 2分40秒±10秒	ISUシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ジュニア選手権	6級以上	2006年7月1日～2012年6月30日の間に出生した者	3分30秒 2分40秒±10秒	ISUジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ノービスA	6級以上	2012年7月1日～2014年6月30日の間に出生した者	3分±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	ノービスB	5級以上	2014年7月1日～2016年6月30日の間に出生した者	2分30秒±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	5級クラス	5級	中学生以上 小学生以下	3分30秒±10秒	ISUジュニア課題 フリー・スケートティング
	4級クラス	4級	中学生以上 小学生以下	3分±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	3級クラス	3級	中学生以上(大学生はインカレ資格での出場が可能) 小学生以下	2分30秒±10秒	(公財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	2級クラス	2級	中学生以上 小学生以下	2分±10秒	別記1
	1級クラス	1級	中学生以上 小学生以下	1分±10秒	別記2
	初級クラス	初級	中学生以上 小学生以下	1分±10秒	別記3

ペア

	選手権	7級以上	2025年7月1日以前に17歳に達している者	4分±10秒 2分40秒±10秒	ISUシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
	ジュニア選手権	6級以上	男子 2002年7月1日～2012年6月30日の間に出生した者 女子 2004年7月1日～2012年6月30日の間に出生した者	3分30秒±10秒 2分40秒±10秒	ISUジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング

アイスダンス(オープン競技のため採点なし)

	自由選択	ブロンズ以上 (パートナーの1名は所持していること)	選手権		リズム・ダンス又は フリー・ダンスのどちらか 1カテゴリーを選択
			ジュニア選手権		

競技課題の内容(No.1)

ショートプログラム 必須要素

シニア 滑走時間 2 分 40 秒(±10 秒間)

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b)単独ジャンプ	トリプルまたはクワド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後 最少 8 回転	
e)スピン	足換え 1 回のみの キャメルまたはシット	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニング または足換え無しの シット・スピンまたはキャメル・スピン
	フライング・スピンのランディング・ポジションとは異なるもの	
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	最少 8 回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢	
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ スピンのポジションと認められるためには2回転が必要。

ジュニア選手権 (2025-2026)

滑走時間 2 分 40 秒(±10 秒間)

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	ダブル・アクセル ※※
b)単独ジャンプ	ダブルまたはトリプル・ループ	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3	2+3、3+3、2+2
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	フライング・シット・スピン	
	着氷後最少 8 回転	
e)スピン	足換え 1 回のみの キャメル・スピン	レイバックまたは サイドウェイズ・リーニング または足換え無しの キャメル・スピン
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	最少 8 回転(規定の姿勢で)
f)スピン・コンビネーション	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢	
	各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要。

競技課題の内容(No.2)

フリー・スケートイング(バランスのとれたシニアのプログラム)

演技時間 選手権 4分(±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大 7	
	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む、 アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても) 2回まで	
	トリプル、クワドの 2 種類のみ、コンビネーション、シークエンスで繰り返し可能 その内クワドは1種類のみ繰り返すことが出来る 単独として繰り返された場合に合は+REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、またはジャンプ・シークエンスは、 ジャンプ・コンボ 2 回+ジャンプ・シークエンス1回、 または、ジャンプ・コンボ 3 回まで可能	
	ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シークエンスうち 1 つだけ3個のジャンプ可能	
スピン	最大 3 個	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング・エントランスのスピン	
	1 種類のポジションのスピン	
ステップ	コンボは最小 10 回転、それ以外は最小6回転	
	氷面を十分に活用したステップ・シークエンス	
コレオグラフィック・シークエンス	形状には制約はないが、明らかにそれと分かるもの 2回転までのジャンプ、スピンを含むことが出来、BOX を占めない	
	レベルはフィックス、GOE のみで評価される	

* スピンのポジションと認められるためには 2 回転が必要

フリー・スケートイング(バランスのとれたジュニアのプログラム)

演技時間 ジュニア選手権 ・5級クラス女子3分30秒(±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大 7 個	
	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む、 アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シークエンスの一部としても) 2回まで	
	トリプルおよびクワドラブル・ジャンプのうち、2 種類のみを 2 回行うことができる。 2 種類の繰り返しのうち 1 種類のみクワドラブル・ジャンプが可能である。 単独として繰り返された場合は+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、またはジャンプ・シークエンスは、 ジャンプ・コンボ 2 回+ジャンプ・シークエンス1回、 または、ジャンプ・コンボ 3 回まで可能	
	ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シークエンスうち 1 つだけ3個のジャンプ可能	
スピン	最大 3 個	
	スピン・コンビネーション	
	フライング・スピンまたはフライング・エントランスのスピン	
	1 種類のポジションのスピン	
	コンボは最小 10 回転、それ以外は最小6回転	
	氷面を十分に活用したステップ・シークエンス	
コレオグラフィック・シークエンス	形状には制約はないが、明らかにそれと分かるもの 2回転までのジャンプ、スピンを含むことが出来、BOX を占めない	
	レベルはフィックス、GOE のみで評価される	

* スピンのポジションと認められるためには 2 回転が必要

競技課題の内容(No.3)

ノービス A プログラム

演技時間 男女とも 3 分 (±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	第一ジャンプとして、ループ・ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 3 種類を含む。	
最大 6	1 つはアクセル系のジャンプを含む	
	ダブルアクセルを含む、いかなるダブル・ジャンプは	
	(単独でもジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスとの一部としても)2 回まで	
	トリプル、クワドの 2 種類のみを、ジャンプ・コンボあるいはジャンプ・シーケンス中で繰り返すことが可能。	
	その内クワドは 1 種類のみ繰り返すことが出来る	
	単独として繰り返された場合は +REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、またはジャンプ・シーケンスは、	
	ジャンプ・コンボ 1 回 + ジャンプ・シーケンス 1 回、	
	または、ジャンプ・コンボ 2 回まで可能	
	ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シーケンスうち	
	1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン ※	あらゆるタイプのフライング・スピン	
最大 3	フライング・スピン(足換え無し、姿勢変更無し)(最小 6 回転)	
	キャメルまたはシット・スピン	スピンレイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのキャメルまたはシット・スピン
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングの入りは不可、最少 6 回転(足換えの場合には最小 10 回転以上)	
	フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーション	
	フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最小 10 回転	
ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンスを最大 1 つ	

※ ポジションと認めてもらうには 2 回転以上必要

ノービス B プログラム

演技時間 男女とも 2 分 30 秒 (±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	第一ジャンプとして、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 2 種類を含む。	
最大 5	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む	
	アクセルを含む、いかなるダブルジャンプは	
	(単独でもジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスとの一部としても)2 回まで	
	トリプル、クワドの 2 種類のみを、ジャンプ・コンボあるいはジャンプ・シーケンス中で繰り返すことが可能。	
	その内クワドは 1 種類のみ繰り返すことが出来る	
	単独として繰り返された場合は +REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、またはジャンプ・シーケンスは、	
	ジャンプ・コンボ 1 回 + ジャンプ・シーケンス 1 回、	
	または、ジャンプ・コンボ 2 回まで可能	
	ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シーケンスうち	
	1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン ※	あらゆるタイプのフライング・スピン	
最大 3	フライング・スピン 足換え無し 姿勢変更無し 最小 6 回転	
	キャメルまたはシット・スピン	スピンレイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのキャメルまたはシット・スピン
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングの入りは不可、最少 6 回転(足換えの場合には最小 10 回転以上)	
	フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーション	
	フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最小 10 回転	
コレオグラフィック・シーケンス	コレオグラフィック・シーケンス	
	形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるものレベルはフィックス、GOE のみで評価される	

※1 ポジションと認めてもらうには 2 回転以上必要

競技課題の内容(No.4)

【別記 1】 2級クラス 男女共 PCSファクター1.8 (全 PC 共通) 転倒: -.02(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション 2 回、またはジャンプ・コンビネーション 1 回+ジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)。

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーション (足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 1 種類のステップ・シークエンス 最大レベル1で評価をする

氷面を十分に利用したステップ・シークエンス

【別記 2】 1級クラス 男女共 PCSファクター1.5 (全 PC 共通) 転倒: -.02(演技時間1分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを1回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 1個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上) レベル B で評価をする

c) ステップ要素 1 種類のステップ・シークエンス

シークエンスの長さは 1/2 以上、最大レベル B で評価をする。

【別記 3】 初級クラス 男女共 PCSファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒: -0.2 (演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャン2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

シングル・スケーティング

- ・滑走時間の過不足は規定時間の過不足5秒ごとに1.0が減点される。
- ・スピンと認められるには3回転以上が必要、3回転未満は無価値となる。
- ・不足している回転が、 $1\frac{1}{4}$ 回転の場合は $q\ 1\frac{1}{2}$ 回転未満の場合には、Under-rotated “<”、 $1\frac{1}{2}$ 回転以上の場合には Downgraded “<<” となる。
- ・シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツ・ジャンプとは異なる)

【選手権・ジュニア選手権】

- ・シングル1.1倍のボーナスが付くジャンプは、演技後半に開始されるジャンプのうち、ショートプログラムは最後の1本、フリー・スケーティングは最後の3本とする。

※本大会はブロック大会「ミニマム取得可能競技会」です

※ISUが新ルール発表した場合は、可能な限り課題に対応する予定です。

【ノービス】

- ・日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点
プログラムが中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。
例えば 11秒～20秒 0.5 21秒～30秒 1.0 31秒～40秒 1.5
競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合、上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。
レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し2.5を減点する。
- ・演技時間の違反—超過または不足した5秒までの過不足ごとに0.5を減点する。
- ・演技開始遅れ—30秒以内の遅れで演技開始姿勢を取った場合0.5を減点する。60秒経過後は棄権となる。
- ・プログラム・コンポーネントの係数は 男子3.33、女子2.67とする。
- ・ノービスクラスの1.1倍のボーナスが付くジャンプは、演技後半に開始されるジャンプのうち、最後の2つとする。
(ノービス B は 1.1 倍のボーナス無し)

【2級以下ロークラス】

- ・規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。
- ・転倒は1回につき0.2減点される。
- ・2級以下ロークラスにおける演技中断の減点
プログラムが中断が起こった場合には、レフリーは10秒毎に0.2を減点する。
レフリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフリーは中断全体に対し1.0を減点する。